番　　　号

令和元年　月　日

取組主体の名称：○○○○○○○○

代表者名：○○　○○　　印

アフリカ豚コレラの侵入防止のための計画（地域侵入防止計画）

　「アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業実施要領」（令和元年９月２５日付け公新畜協第２８３号）第３の１の（１）の規定に基づき、下記のとおり定める。

記

１　取組主体の名称及びその構成員の概要

（１）取組主体の名称等

　　①住所（事務局）：

　　②名称：ＪＡ◯◯

　　③代表者名：

（２）（１）の構成員の概要

　　・ＪＡ◯◯

　・◯養豚経営体

　（参考）◯養豚経営体の内訳

|  |  |
| --- | --- |
| 市町村名 | 養豚経営体名（農場） |
| 　　　市 | 　養豚農場 |
| 　　　町 | 　養豚農場 |
| 　　　村 | 　養豚農場 |

　　　　　注：農場が市町村をまたがる場合は、主たる事務所所在市町村とする。

２　地域侵入防止計画の達成に向けた構成員ごとの役割分担

|  |  |
| --- | --- |
| 構成員 | 役割分担 |
| 　　農協 | 事務局（総括、交付金事務）、実施計画の取りまとめ |
| ◯◯市（町、村） | 実施計画の承認 |
| 地域振興局 | 交付申請書の内容確認 |
| 家畜保健衛生所 | 実施計画の作成及び防護柵設置のための助言 |
| 養豚経営体 | 実施計画の策定、業者見積、防護柵の選定等 |

３　養豚経営体が整備する防護柵の種類、内容及び効果

（１）防護柵の種類

　　①電気柵（その他の柵と併せて２重柵とする）

　　②ワイヤーメッシュ柵（上部：折り返し、下部：折り返しのスカート、柵の境目や柵と地面との隙間を空けない）

　　③金網柵（ロールフェンス）

　　④可動柵（門扉）

（２）防護柵の高さ

　　①電気柵：〇〇ｃｍ以上

　　②その他の柵：120ｃｍ以上、メッシュ等の目の大きさは△ｃｍ以下

（３）防護柵の設置場所

　　　基本的に衛生管理区域の境界全域に防護柵を設置するが、状況に応じてその他の場所も含めて囲う位置に設置する。

（４）防護柵の効果

　　　いのししの野生動物の侵入を防止できること。

４　その他、地域におけるアフリカ豚コレラ侵入防止に資する取組の内容

　　注：特に該当するものがあれば記入すること。

　（記入例）

　　同地域では、野生いのししの生息域で、月２回の頻度で猟銃による駆除を行うとともに、罠による捕獲を実施して生息数を減らすよう努める。

　　養豚経営体ごとに定期的な防護柵の周辺の除草、防護柵の点検及び破損の場合の補修、防護柵周辺の木の伐採などにより、野生いのししの侵入を防止する。